



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 高橋 浩二
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
TEL 03-3787-1151(代表)

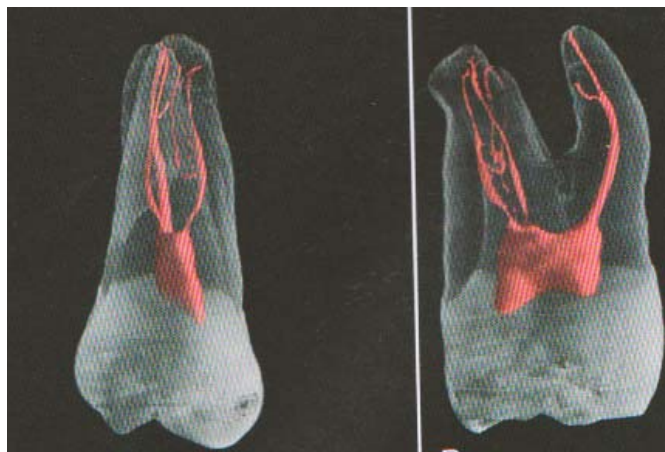
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

「歯内治療は、目に見えない歯の大切な基礎工事です。」

歯内治療科 科長 増田 宜子



家の基礎工事の重要性は誰もが理解されていると思います。どんなに素晴らしい建物でも基礎工事がうまくいっていないとヒビが入ったり傾いたり崩れたりして長持ちしません。大変不安です。同じように歯を一生長く使うためには、歯の基礎工事である歯内治療をきちんと行う必要があります。歯の基礎工事とは、根(根管)治療です。



(Pathway of the pulp 参照)

とりわけ最初の歯内治療(根管治療)が大変重要です。

歯の根は大変複雑で様々に枝分かれして一人ひとり違います。しかも歯肉の下にあるため目で直接見て治療を行う事ができません。

根の中の管(根管)のサイズは直径0.3mmなど1mmにも満たない細い管です。しかも一人ひとりその曲がり方や枝分かれ、サイズも違います。この根管を大きく広げすぎると根の壁が薄くなり、

亀裂や穴があき痛みや違和感が出てしまいます。一度大きく広げられたり形を変えられた根管は元にはもどりません。亀裂や穴が原因で抜歯となってしまうこともあります。したがって、根管の中は丁寧に清掃し消毒して細菌がない状態で塞ぐ必要があります。そのためには、顕微鏡やCTを使った歯内治療が必要です。大変細かい根管を壊さないよう細心の注意を払いながら汚染物質や細菌をきれいに除去する治療を行います。



歯内治療科では、このような最新の技術を用いた診療(自費診療・保険診療)を行い歯を長持ちさせることに診療科一同で取り組んでおります。



歯内治療科 紹介

歯内治療科では、唾液中の細菌が根管に入らないようにラバーダム防湿というゴムのマスクのようなものを行います。

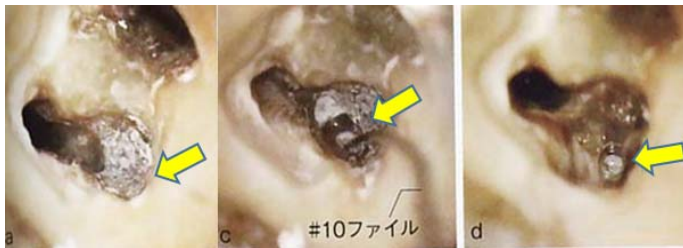


ラバーダム防湿

左図は患者ロボットにラバーダム防湿を行ったものです。右は拡大したものです。細菌が根の中に入るとせっかく洗浄、消毒した治療が台無しになります。ゴムアレルギーの方や鼻呼吸の方には別の方法を行います。また、顕微鏡を用いた根管治療を行っています。

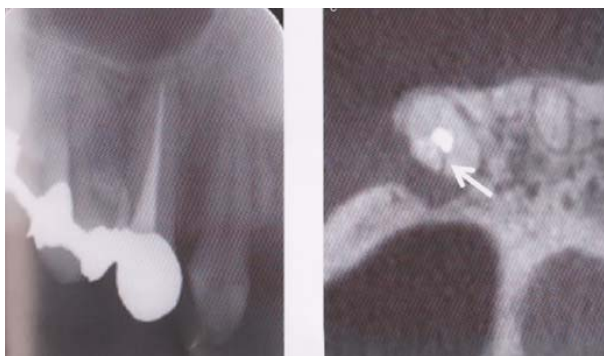


顕微鏡を用いると根管内の複雑な形態を観察できます。塞がった根管の入り口もつける事ができます。



見つかった根管の入り口

さらにCTにて3次元的に根管を精査します。

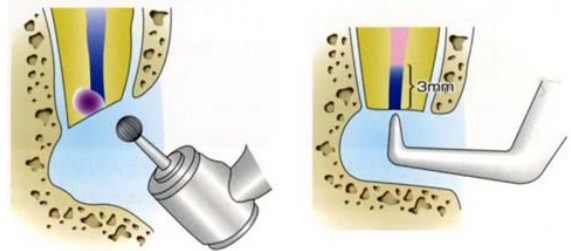


デンタルX線像

CT(3DX)画像

左の通常撮影するデンタルX線画像では破折はわかりませんが、右のCT(3DX)画像では歯の根に破折があるのがわかります。治る見込みのない歯を長く治療することも無くなりより正確な診断が可能となりました。

また、顕微鏡を用いて歯の根の先に出来た病巣を取る手術(歯根端切除術)も行っています。



(エンドサージェリーのエッセンス 参照)

右の図が顕微鏡を用いた歯根端切除術です。傷口を小さくし根の先の亀裂や別の根管を見つけることができます。

さらに子供の永久歯で根の成長途中に根の病気になる歯の再生治療にも取り組んでいます。

診療は、自費診療と保険診療の大きく2つに分かれます。歯内治療科における最新の薬剤による封鎖やレーザーによる根管洗浄を行う場合は自費診療となります。

根管治療を確実にいき一生使っていけるように歯内治療科は日々努力しています。特に最初の根管治療、2回目以降の根管治療も是非歯内治療科にて精密な治療を受けていただけることを願っています。診療内容に関して御不明な点はお気軽にご相談いただけたらと思います。皆様の「いい根で良い人生」を応援しています。

歯内治療科 科長 増田 宜子



歯内治療科 スタッフ





この度、定年退職された石川師長の後任として、3月1日付で北部病院より異動してまいりました、相澤寿子(ひさこ)と申します。私の勤務歴は、他の大学病院救命救急センター勤務を皮

切りに実家のある秋田県内の病院に勤務し、1988年から藤が丘病院に就職しました。外科病棟での勤務が10年を超え、何回か院内異動の希望を出しましたが、なぜか、その都度上司が異動となり、希望がかなわない状況が続きました。今でも忘れられない1999年12月末に海外旅行から帰国し、リフレッシュし2000年問題の新年を迎えようとした12月28日に、上司から「北部への異動が決まったから・・・」といきなり告げられました。2000年4月1日付で北部病院開設準備室へ異動となり、15年間北部病院で勤務してまいりました。開院時から師長として呼吸器ケアセンター・耳鼻科病棟、緩和ケア病棟、感染管理室専任、整形外科病棟、内科・耳鼻科病棟・血液浄化室と経験させていただきました。北部病院の師長の中で開院時から、他病院へ異動していないのは自分だけとなりそろそろ異動かなあと思っていた時に、歯科病院への異動を打診され、感染管理に関わり歯科領域に興味を持ち始めていた時期であったため、新しいことにチャレンジするチャンスをいただけたと思い、初めて神奈川県以外の病院へ通勤することになりました。

北部病院では開院前から、感染対策マニュアル作成など、感染管理をなぜか担当することになり、毎日四苦八苦していました。2005年に日本看護協会看護研修学校認定コース「感染管理」コースへ6ヶ月間出張させていただき研修を受け、2006年度に『感染管理認定看護師』資格を取得しました。歯科病院に異動となり、医科と歯科の違いに

戸惑う毎日ですが、看護師や歯科医師の手指衛生が気になって仕方がありません。3カ月はおとなしくしていようと思っていますが、歯科について理解が深まった時点で、感染管理に関しても活動を本格化しようと考えています。

職員数が他の附属病院より少ないこともあり、アットホーム的で、また安全や感染のラウンドもフォローアップラウンドをするなどきめ細かな対応がされていることに驚きました。歯科の分野で日本一の病院を目指している意気込みが伝わってきます。看護部としては、人員不足で手術や外来など、御迷惑をおかけしておりましたが、育休明の復帰等のめどが付き、夏頃には体制が整うと考えています。看護部スタッフ一丸となり、貢献できるように頑張りたいと思います。課題をひとつずつ解決できるように努めてまいりますので、何卒ご指導・ご協力くださいますよう、よろしくお祈いします。



グリッターバグで手指衛生確認中(昭和大学横浜市北部病院にて)

平成26年度 病院長表彰

平成26年度昭和大学歯科病院長表彰は総合診療歯科の池田亜紀子先生、薬局の稲田洋子先生ならびに日本メディカルサービスの松添清美さんが受けられ、3月25日表彰式が執り行われました。

池田先生は臨床教育の向上として診療科長である長谷川先生より、稲田先生は薬剤に係る業務全般への貢献として薬局長の池田先生。また、松添さんは洗浄業務の貢献として歯内治療科科長の増田先生より推薦されました。おめでとうございます。

病院広報委員長 高橋 浩二

新入職員 紹介

4月1日、午前の昭和大学入職式の後、配属先である歯科病院にて就任式が執り行われました。昭和大学歯科病院槇病院長の挨拶の後、辞令交付がありそれぞれの部署に配属されました。

事務課



左より、日本メディカルサービス 松添清美、槇病院長、総合診療歯科 池田亜紀子、薬局 稲田洋子



前列左より、看護部 正木和乙子、馬場副院長、槇病院長、飯島副院長、歯科技工室 八巻知里
後列左より、看護部 相澤寿子、薬局 高地明子、歯科衛生室 小曾根菜摘、水島美紀、金丸奈瑠美

耐震基準の適合

東京都より耐震基準への適合が確認できた建築物として、耐震マークが交付されました。

「東京都耐震マーク」：平成24年4月に、都民が安心して建築物を利用することができるように地震に対する安全性を示す「東京都耐震マーク表示制度」を創設しました。

(http://www.taishin.metro.tokyo.jp/tokyo/labeling_system.html)

事務課



編集後記

全国で大雨、突風、落雷、雹などが吹き荒れ、さらには視界不良による飛行機の着陸失敗など様々な異常気象による天災や人災が起きた4月ですが、桜の木々はそれぞれの地で満開の美しい花を咲かせながら、桜前線は無事北海道に到達しました。

今年度も歯科病院では様々な患者サービスを実行致します。本年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

(K.T)

